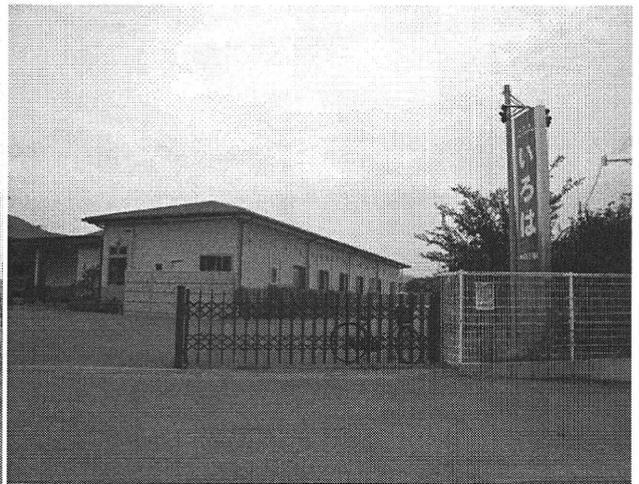


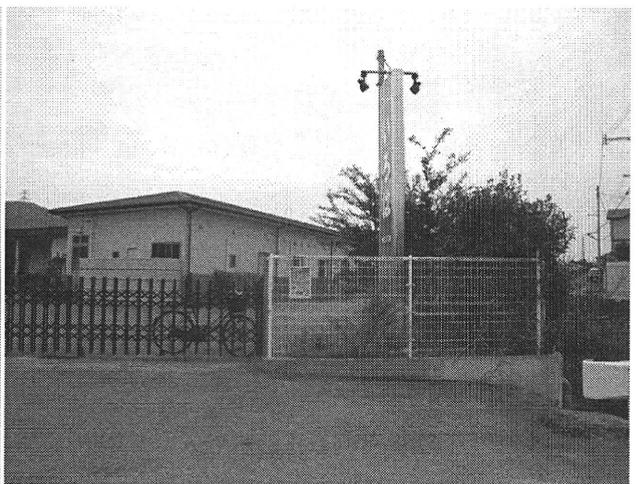
①外観写真（木の後ろが地域交流）



②いろはの外観



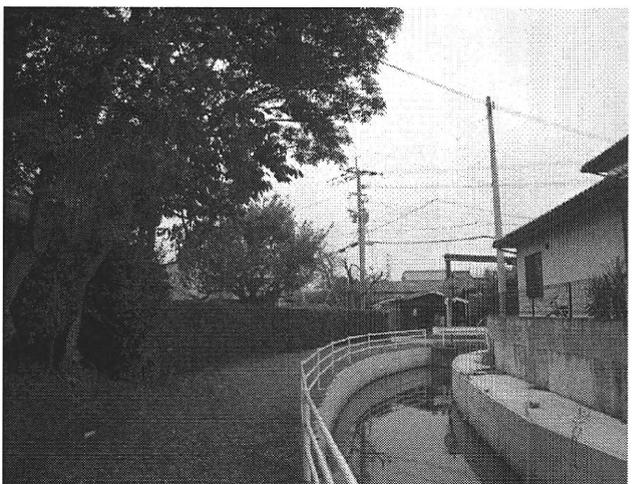
③周辺写真



④周辺写真



⑤周辺写真



⑥周辺写真

校区	三池校区	交流拠点名	あじさい地域交流広場
		法人名	(医)親仁会

【施設概要】

1.	開設年月	平成18年9月開設	
2.	整備手法	既存建物を転用して整備	
	整備費用(交流拠点にかかる額)	総額:800万円(うち補助金額560万円)	
	敷地内施設の有無(小規模多機能、グループホーム、訪問介護、居宅支援事業所、喫茶など)	有	
	有の場合:交流拠点と同一施設内にあるもの 地区住民が訪問しやすい立地・建物と思うか	小規模多機能 どちらとも言えない	
その理由:			
3.	運営に関わる主なスタッフ数	3名	
4.	主なスタッフの勤務状況	保有資格	兼務先
	1人目 兼任	ケアマネ	小規模多機能との兼務
	2人目 兼任	介護福祉士	小規模多機能との兼務
	3人目 兼任	介護福祉士	小規模多機能との兼務
5.	平成21年度の運営費	収入:33万円	支出:7万円
	交流拠点の家賃	家賃あり 7万円/月	

【事業内容・運営形態】

6.	総事業数(回)	実施回数(回)	参加者総数(人)	市委託, 法人主体, 住民主体, 横断事業の割合
	8	122	1458	2:1:5:0
	事前登録の必要性(必要:不必要)	高齢者, 子世帯, 多世帯の割合		参加者の流動性 固定, ほぼ固定, 流動
3:5		4:1:3		3:3:2
定期的な活動は、市主体のもの忘れ予防教室、はにかみ教室、法人主体の健康友の会、地域住民主体の囲碁会、着付けリフォーム、健康勉強会である。各活動が月数回程度の割合で実施されている。各活動の参加人数にはバラつきがあるが、おおよそ1回あたり10人前後である。				
7.	開館方法	事業や活動がある時のみオープン。それ以外は施錠。必要に応じて開ける。		
	開館曜日			開館時間
	開館時の職員の常駐場所			
毎月の延利用者数	約126名	利用者数の増減	利用者数は横ばい	
大牟田市委託事業(よかば〜い体操、歯にかみ教室)の実施状況			実施している	
大牟田市委託事業の修了者向け講座の有無			無	
名称)			独自の交流拠点事業	
対象者)未回答			参加形式)未回答	
住民による校区活動やサークル活動時の利用形態			事前予約が必要・空いていれば利用可	
不定期の利用回数			0回/月	
常時運営している有料のレストランや食事処			無	
提供内容			利用者数	
お茶や雑談など地域の縁側機能として立ち寄る場			無	
提供内容			利用者数	
ボランティアの参加の有無		有	延ボランティア数	約5名/月
送迎の有無			有	
地区住民が利用可能な無料駐車場(隣接地の駐車場等を含む)			有	

【地区住民参加】

9.	他の地域交流施設と比較した場合の本施設の校区住民に対する認知度			
	37の地域交流施設のなかでは、校区住民にあまり知られていない交流拠点だと思う			
10.	広報誌(A4 1枚程度のものも含む)の作成の有無		作成していない	
11.	地域交流施設の運営に関わる住民側キーパーソン、リーダー			無
	人数		校区活動経験	
	校区での立場			
	無の場合 キーパーソンになりうる可能性がある人			
12.	地域交流施設と校区組織(公民館、民児委員、老人クラブ、校区社協等)との連携状況			
	37の地域交流施設のなかでは、連携ができていない交流拠点だと思う			
13.	地域交流施設として校区活動等に参加していること			
	地域交流施設として公民館に加入している			
14.	校区の資源マップ作成の有無		作成していない	
15.	校区住民に運営にかかわってもらうためにしていること			
	事業者側が主催する各種事業でボランティアとしてかかわってもらっている。併設の小規模多機能等の運営推進会議に住民側が入り交流施設について話しあう。			
16.	地域交流施設での活動をより小地域で展開するための小サロン等の設置について			
	設置の有無	検討に至っていない		
	小サロンの数		場所	
	開催数			運営主体

【地区住民のポテンシャル】

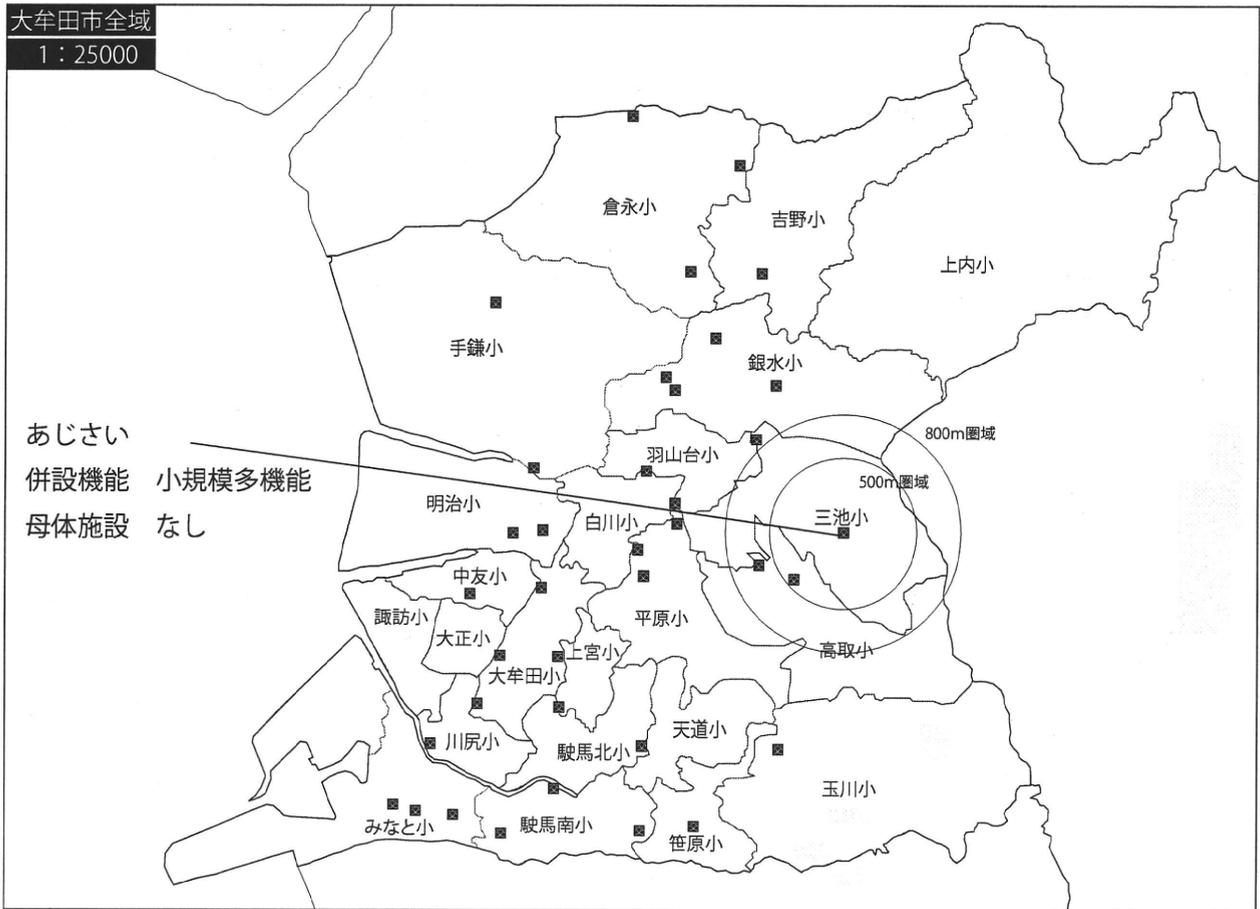
17.	地区校区の住民活動について			
	22校区のなかでは公民館、民生児童委員、校区社協などの活動が活発である			
18.	校区の住民活動について			
	22校区のなかで公民館、民生・児童委員、校区社協の横の連携がある			
19.	地域の互助機能を活用して校区内住民へのケアを行った事があるか			有
	有の場合:どのような手順を踏んで支援に結びつけましたか)もの忘れ予防教室の参加者からの情報提供により、教室参加をご案内			

【地域交流施設と法人のサービス向上・経営改善】

20.	問19のような高齢者が介護保険を利用することになりケアプラン作成をする際に、地域住民による互助を意識的に組み込んだ事例(朝は民生委員で声かけ、日曜日の昼食準備等)はあるか			
	無	有の場合		
21.	地域交流施設での事業に関わることは法人のサービス向上や長期的な経営改善に寄与するか サービス向上、長期的な経営改善、双方に寄与すると思う。			
22.	地域交流施設の事業に対する法人トップの考えや方針について 交流拠点の各種事業への積極的な取り組みを行っていると思う。			
23.	地域交流施設に対する市役所の働きかけについての要望			
	未回答			
24.	地域交流施設に対する市社協・校区社協の働きかけについての要望			
	未回答			

大牟田市全域

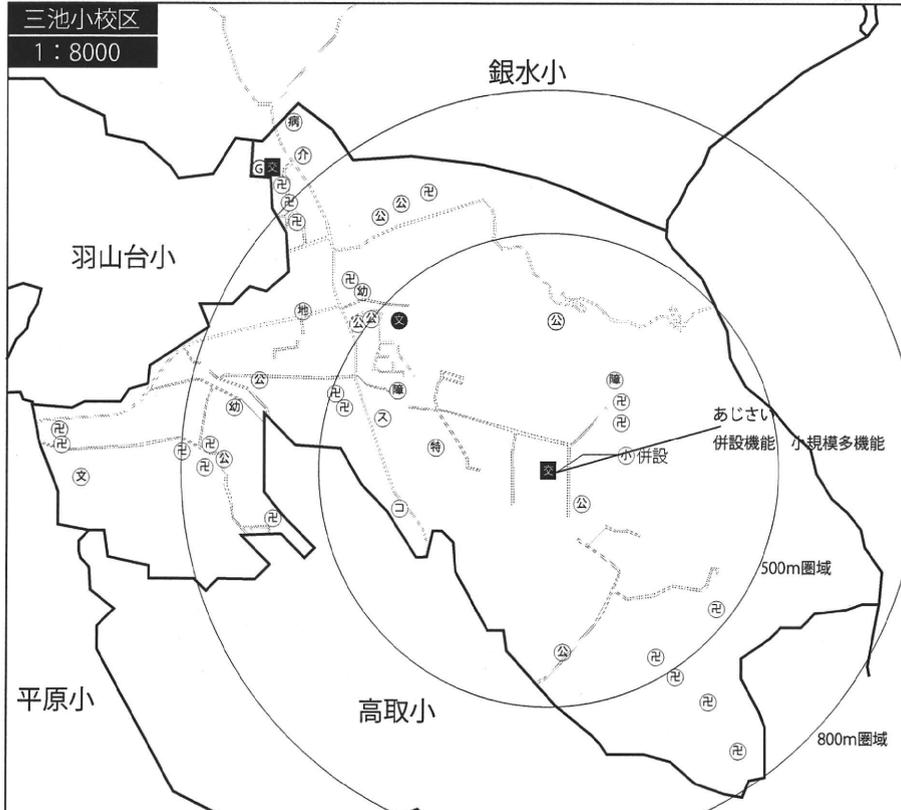
1 : 25000



あじさい
併設機能 小規模多機能
母体施設 なし

三池小校区

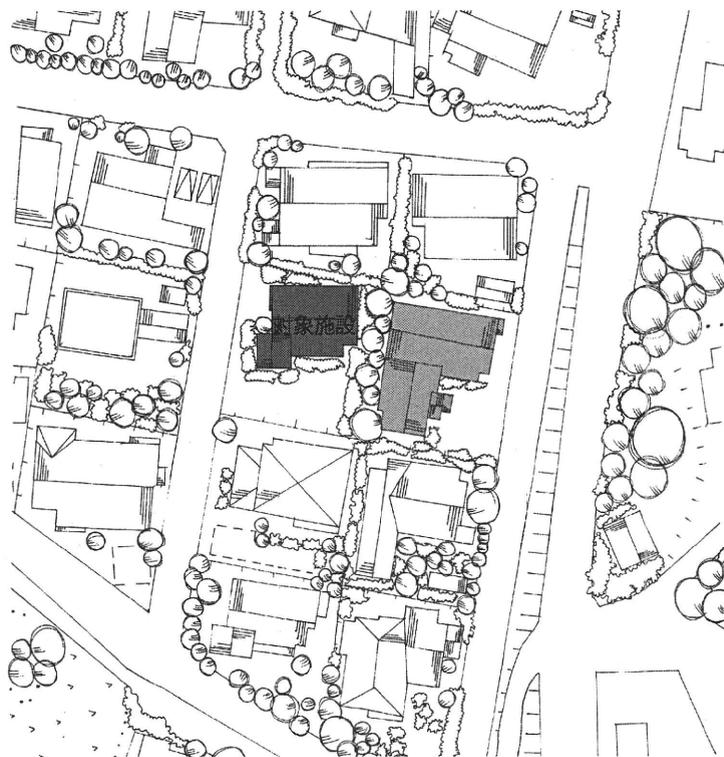
1 : 8000



熊本県
南関町

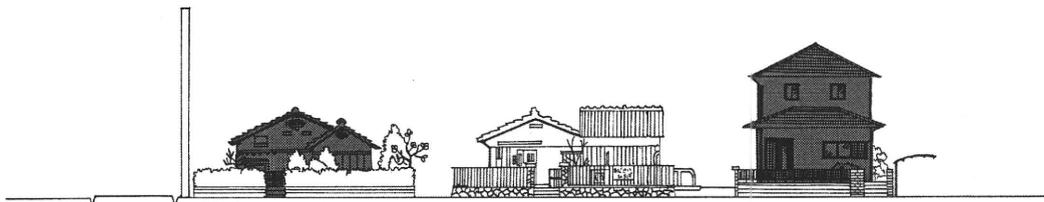
圏域内の施設の数		500m	800m
交流施設	1個	1個	1個
コンビニ	1個	1個	1個
神社・寺	6個	17個	
障害者相談支援事業所・地域活動支援センター 障害者福祉施設・市民活動団体	2個	2個	
介護保険施設・地域密着型介護老人福祉施設			
スーパー	1個	1個	
公民館	4個	9個	
小規模多機能型居宅介護	1個	1個	
学校 (県〇は小学校)	1個	1個	
認知症対応型共同生活介護			
病院 (診療所・医院は含まない)			
幼稚園・保育園		2個	
特別養護老人ホーム	1個	1個	
市役所			
集会所			
地域包括支援センター		1個	
子供関連施設			
介護予防相談センター			

人口	9148人	老人クラブ加入率	12.7%
65歳以上の高齢者数	2929人	公民館加入率	37.6%
単身高齢者世帯数	841人	投票率	60.9%

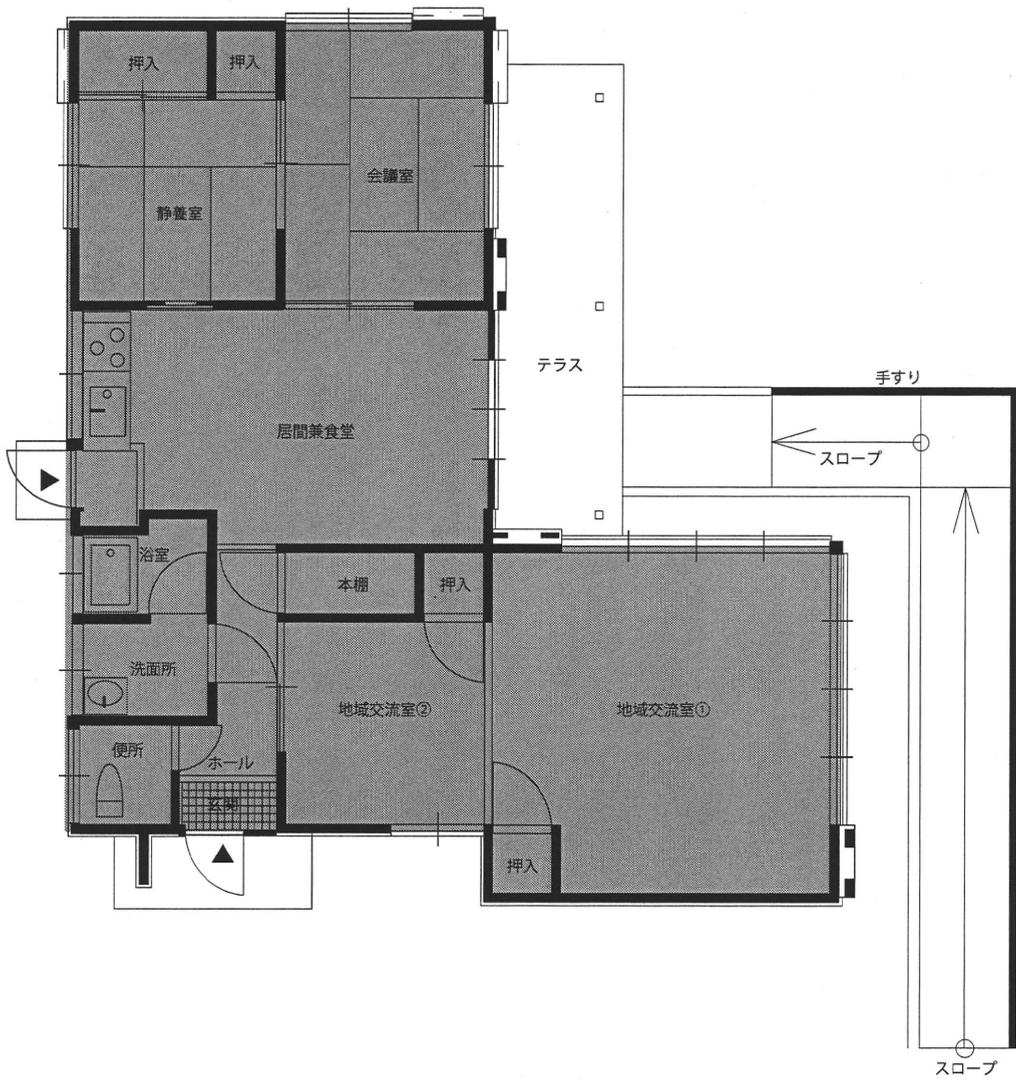


1:900

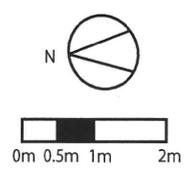
あじさい 配置図



あじさい 西側立面図 1/400



地域交流拠点



地域交流スペース面積：28.53㎡

あじさい平面図 1/150



①交流拠点外観



②小規模多機能外観



③交流拠点外観



④交流拠点と小規模多機能の連絡通路（手前、交流拠点）



⑤周辺写真（中央小規模多機能）



⑥周辺写真

校区	高取校区	交流拠点名	延寿苑
		法人名	(社福)福因寺福祉会

【施設概要】

1.	開設年月	平成18年8月開設	
2.	整備手法	新規建設	
	整備費用(交流拠点にかかる額)	総額:2289万円(うち補助金額750万円)	
	敷地内施設の有無(小規模多機能、グループホーム、訪問介護、居宅支援事業所、喫茶など)	無	
	有の場合:交流拠点と同一敷地内にあるもの 地区住民が訪問しやすい立地・建物と思うか その理由:住宅の中にある為。	訪れやすいと思う	
3.	運営に関わる主なスタッフ数	3名	
4.	主なスタッフの勤務状況	保有資格	兼務先
	1人目	兼任	介護支援専門員・看護師 介護予防・相談センターとの兼務
	2人目	兼任	介護支援専門員・社会福祉士 看護師 居宅介護支援事業所との兼務
	3人目	兼任	介護支援専門員・社会福祉士 看護師 居宅介護支援事業所との兼務
5.	平成21年度の運営費	収入:350万円	支出:31万円
	交流拠点の家賃	家賃なし	

【事業内容・運営形態】

6.	総事業数(回)	実施回数(回)	参加者総数(人)	市委託, 法人主体, 住民主体, 横断事業の割合
	1	167	609	0:1:0:0
	事前登録の必要性(必要:不必要)	高齢者, 子世帯, 多世帯の割合		参加者の流動性 固定, ほぼ固定, 流動
	0:1	1:0:0		0:1:0
活動は週4回開催されている介護予防教室のみである。1回あたりの参加者は5名程度である。				
7.	開館方法	事業や活動の有無にかかわらず一定時間、オープンしている。		
	開館曜日	月～土	開館時間	8:30～17:30
	開館時の職員の常駐場所	地域交流施設内		
	毎月の延利用者数	約50名	利用者数の増減	利用者数は増加傾向 メンバーは広がり、利用者数も増加している
	大牟田市委託事業(よかば～い体操、歯にかみ教室)の実施状況			実施している
	大牟田市委託事業の修了者向け講座の有無			無
	名称)			
	独自の交流拠点事業			実施している
	対象者)高齢者向け		参加形式)事前登録不要	
	住民による校区活動やサークル活動時の利用形態			事前予約制
	不定期の利用回数			
	常時運営している有料のレストランや食事処			無
	提供内容			利用者数
	お茶や雑談など地域の縁側機能として立ち寄る場			無
	提供内容			利用者数
	ボランティアの参加の有無		無	延ボランティア数
	送迎の有無			無
地区住民が利用可能な無料駐車場(隣接地の駐車場等を含む)			有	

【地区住民参加】

9.	他の地域交流施設と比較した場合の本施設の校区住民に対する認知度			
	37の地域交流施設のなかでは、校区住民にあまり知られていない交流拠点だと思う			
10.	広報誌(A4 1枚程度のものも含む)の作成の有無		作成していない	
11.	地域交流施設の運営に関わる住民側キーパーソン、リーダー			無
	人数		校区活動経験	
	校区での立場			
	無の場合 キーパーソンになりうる可能性がある人			
12.	地域交流施設と校区組織(公民館、民児委員、老人クラブ、校区社協等)との連携状況			
	37の地域交流施設のなかでは、連携があまりできていない交流拠点だと思う			
13.	地域交流施設として校区活動等に参加していること			
	参加している。(内容は未回答)			
14.	校区の資源マップ作成の有無		作成していない	
15.	校区住民に運営にかかわってもらうためにしていること			
	事業者側が主催する各種事業でボランティアとしてかかわってもらっている。			
16.	地域交流施設での活動をより小地域で展開するための小サロン等の設置について			
	設置の有無	検討に至っていない		
	小サロンの数		場所	
	開催数		運営主体	

【地区住民のポテンシャル】

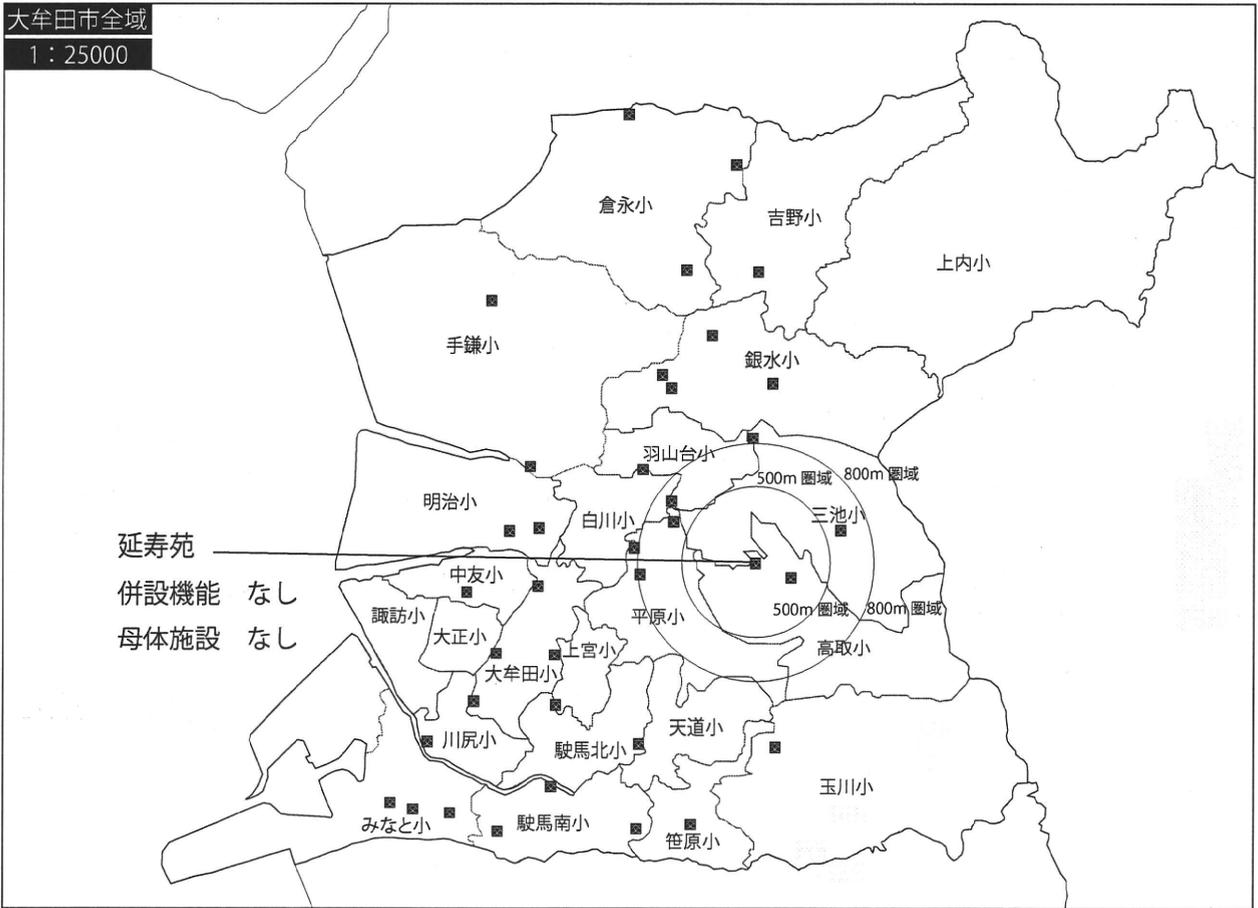
17.	地区校区の住民活動について			
	22校区のなかでは公民館、民生児童委員、校区社協などの活動があまり活発ではない			
18.	校区の住民活動について			
	22校区のなかで公民館、民生・児童委員、校区社協の横の連携があまりない			
19.	地域の互助機能を活用して校区内住民へのケアを行った事があるか			無

【地域交流施設と法人のサービス向上・経営改善】

20.	問19のような高齢者が介護保険を利用することになりケアプラン作成をする際に、地域住民による互助を意識的に組み込んだ事例(朝は民生委員で声かけ、日曜日の昼食準備等)はあるか			
	無	有の場合		
21.	地域交流施設での事業に関わることは法人のサービス向上や長期的な経営改善に寄与するかサービス向上にのみ寄与すると思う。			
22.	地域交流施設の事業に対する法人トップの考えや方針について			
	必要性は認識しているが積極的に取り組んでいるとは言い難いと思う。			
23.	地域交流施設に対する市役所の働きかけについての要望			
	未回答			
24.	地域交流施設に対する市社協・校区社協の働きかけについての要望			
	未回答			

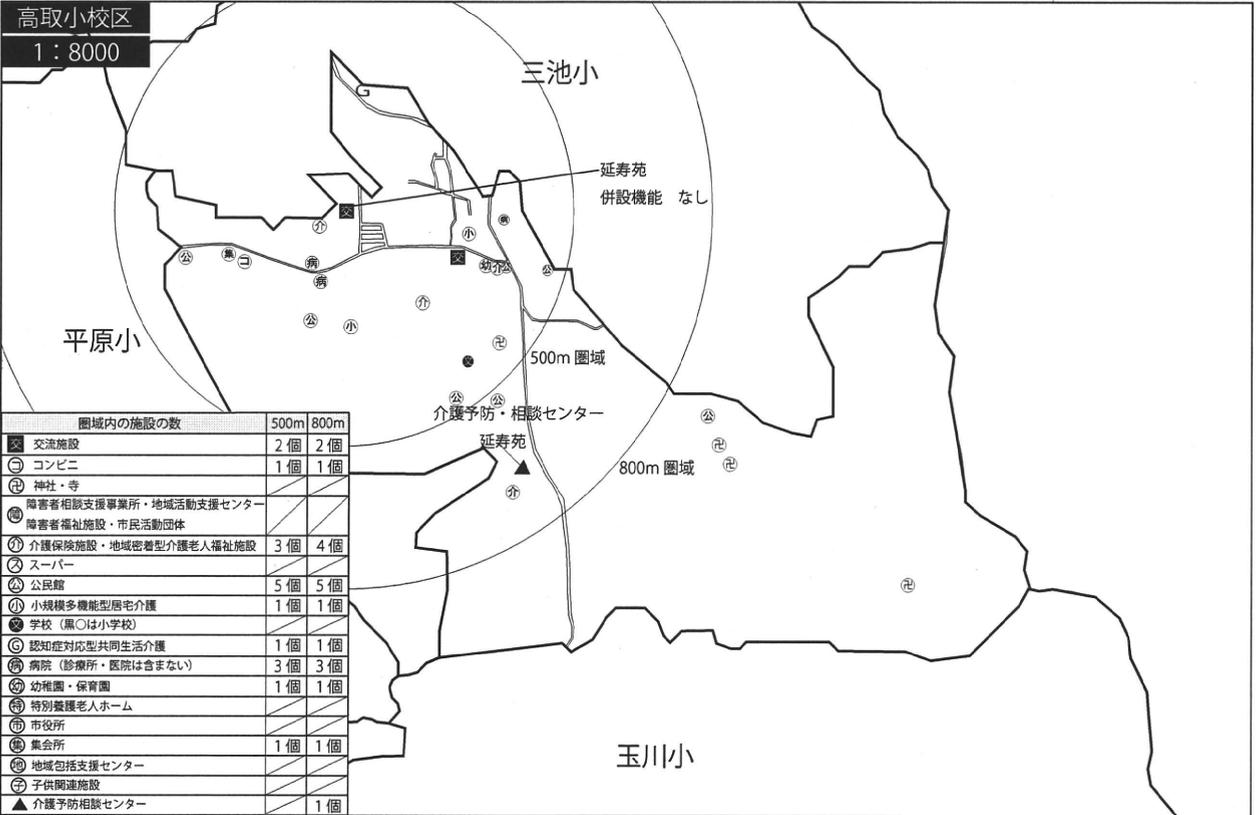
大牟田市全域

1 : 25000



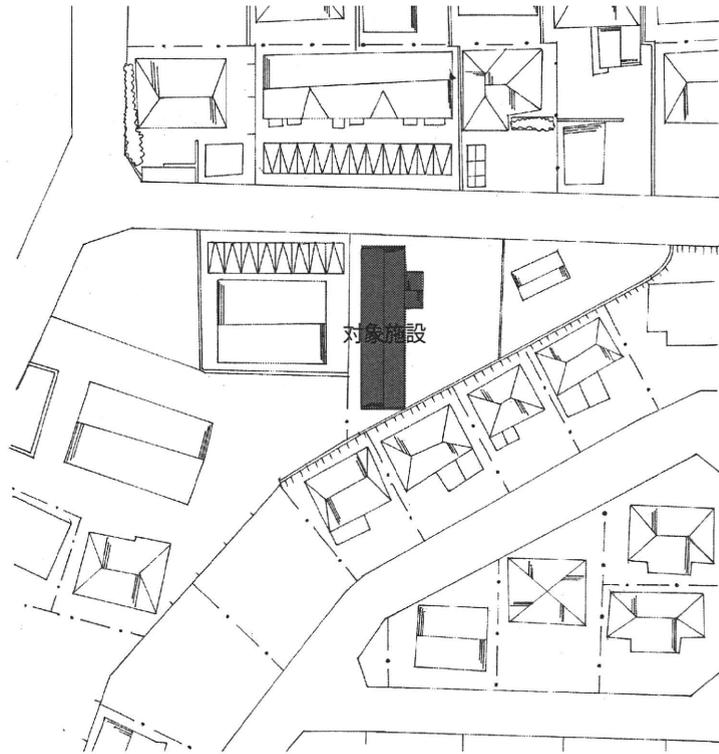
高取小校区

1 : 8000



施設の種類	500m	800m
交流施設	2個	2個
コンビニ	1個	1個
神社・寺		
障害者相談支援事業所・地域活動支援センター		
障害者福祉施設・市民活動団体		
介護保険施設・地域密着型介護老人福祉施設	3個	4個
スーパー		
公民館	5個	5個
小規模多機能型居宅介護	1個	1個
学校 (黒○は小学校)		
認知症対応型共同生活介護	1個	1個
病院 (診療所・医院は含まない)	3個	3個
幼稚園・保育園	1個	1個
特別養護老人ホーム		
市役所		
集会所	1個	1個
地域包括支援センター		
子供関連施設		
介護予防相談センター		1個

人口	6268人	老人クラブ加入率	8.2%
65歳以上の高齢者数	1864人	公民館加入率	16.2%
単身高齢者世帯数	704人	投票率	55.65%

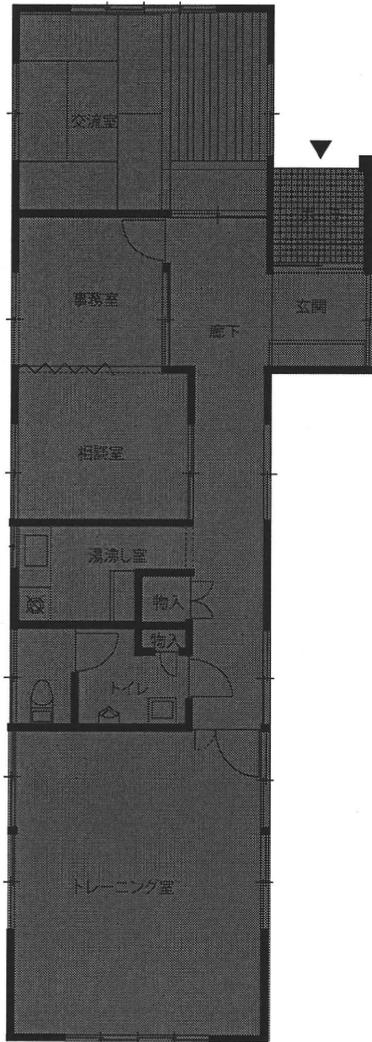


1:900

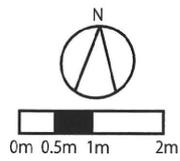
延寿苑 配置図



延寿苑 北側立面図 1/400

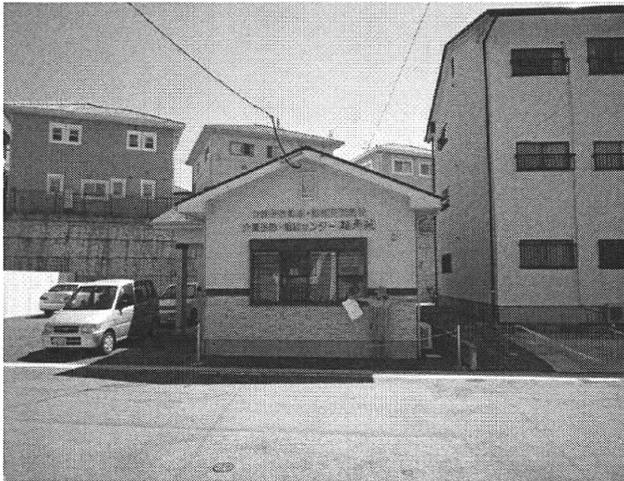


地域交流拠点



地域交流スペース面積：9.66㎡

延寿苑平面図 1/100



①交流拠点外観



②交流拠点外観



③交流拠点外観



④交流拠点駐車場



⑤周辺写真



⑥周辺写真

校区	高取校区	交流拠点名	地域サポートネット たかとり
		法人名	(社福)あらぐさ会

【施設概要】

1.	開設年月	平成18年8月開設		
2.	整備手法	新規建設		
	整備費用(交流拠点にかかる額)	総額:1100万円(うち補助金額750万円)		
	敷地内施設の有無(小規模多機能、グループホーム、訪問介護、居宅支援事業所、喫茶など)	無		
	有の場合:交流拠点と同一施設内にあるもの 地区住民が訪問しやすい立地・建物と思うか	どちらとも言えない		
その理由:				
3.	運営に関わる主なスタッフ数	2名		
4.	主なスタッフの勤務状況	保有資格	兼務先	
	1人目	兼任	保有士	高取保育園保育士との兼務
	2人目	兼任	保有士	高取保育園保育士との兼務
5.	平成21年度の運営費	収入:15万円	支出:15万円	
	交流拠点の家賃	家賃なし		

【事業内容・運営形態】

6.	総事業数(回)	実施回数(回)	参加者総数(人)	市委託, 法人主体, 住民主体, 横断事業の割合
	9	98	988	0:6:3:0
	事前登録の必要性(必要:不必要)	高齢者, 子世帯, 多世帯の割合		参加者の流動性 固定, ほぼ固定, 流動
	4:5	0:1:8		3:4:2
活動母体が保育園であるため、定期的な活動は子育て親子教室のみである。子育て教室は、毎週開催され、1回あたりの参加者数は15名程度である。その他には、踊り、合唱、絵本読み聞かせ、さつまいも堀、振り込め詐欺学習会などが不定期に開催されている。				
7.	開館方法	事業や活動がある時のみオープン。それ以外は施錠。必要に応じて開ける。		
	開館曜日			開館時間
	開館時の職員の常駐場所			
8.	毎月の延利用者数	約150名	利用者数の増減	利用者数は増加傾向 メンバーは広がり、利用者数も増加している
	大牟田市委託事業(よかば〜い体操、歯にかみ教室)の実施状況			実施していない
	大牟田市委託事業の修了者向け講座の有無			無
	名称)			
	独自の交流拠点事業			実施している
	対象者)高齢者向け、子育て世代向け		参加形式)事前登録不要	
	住民による校区活動やサークル活動時の利用形態			事前予約が必要・空いていれば利用可
	不定期の利用回数			5回/月
	常時運営している有料のレストランや食事処			無
	提供内容			利用者数
	お茶や雑談など地域の縁側機能として立ち寄る場			未回答
	提供内容			利用者数
ボランティアの参加の有無		未回答	延ボランティア数	未回答
送迎の有無			無	
地区住民が利用可能な無料駐車場(隣接地の駐車場等を含む)			有	

【地区住民参加】

9.	他の地域交流施設と比較した場合の本施設の校区住民に対する認知度		
	37の地域交流施設のなかでは、校区住民に知られている交流拠点だと思う		
10.	広報誌(A4 1枚程度のものも含む)の作成の有無		作成している
	地域交流施設やグループ内の医療福祉機関に掲示・持ち帰り可能		
11.	地域交流施設の運営に関わる住民側キーパーソン、リーダー		無(該当者はあり)
	人数	校区活動の経験	
	校区での立場		
	無の場合 キーパーソンになりうる可能性がある人		元教師、元会社員(民生委員)
12.	地域交流施設と校区組織(公民館、民児委員、老人クラブ、校区社協等)との連携状況		
	37の地域交流施設のなかでは、連携があまりできていない交流拠点だと思う		
13.	地域交流施設として校区活動等に参加していること		
	地域交流施設や法人で必要なものを校区内の商店で購入している		
14.	校区の資源マップ作成の有無		作成していない
15.	校区住民に運営にかかわってもらうためにしていること		
	事業者側が主催する各種事業でボランティアとしてかかわってもらっている。 事業者側が主催する各種事業で運営や企画を担ってもらっている。		
16.	地域交流施設での活動をより小地域で展開するための小サロン等の設置について		
	設置の有無	検討に至っていない	
	小サロンの数	場所	
	開催数		運営主体

【地区住民のポテンシャル】

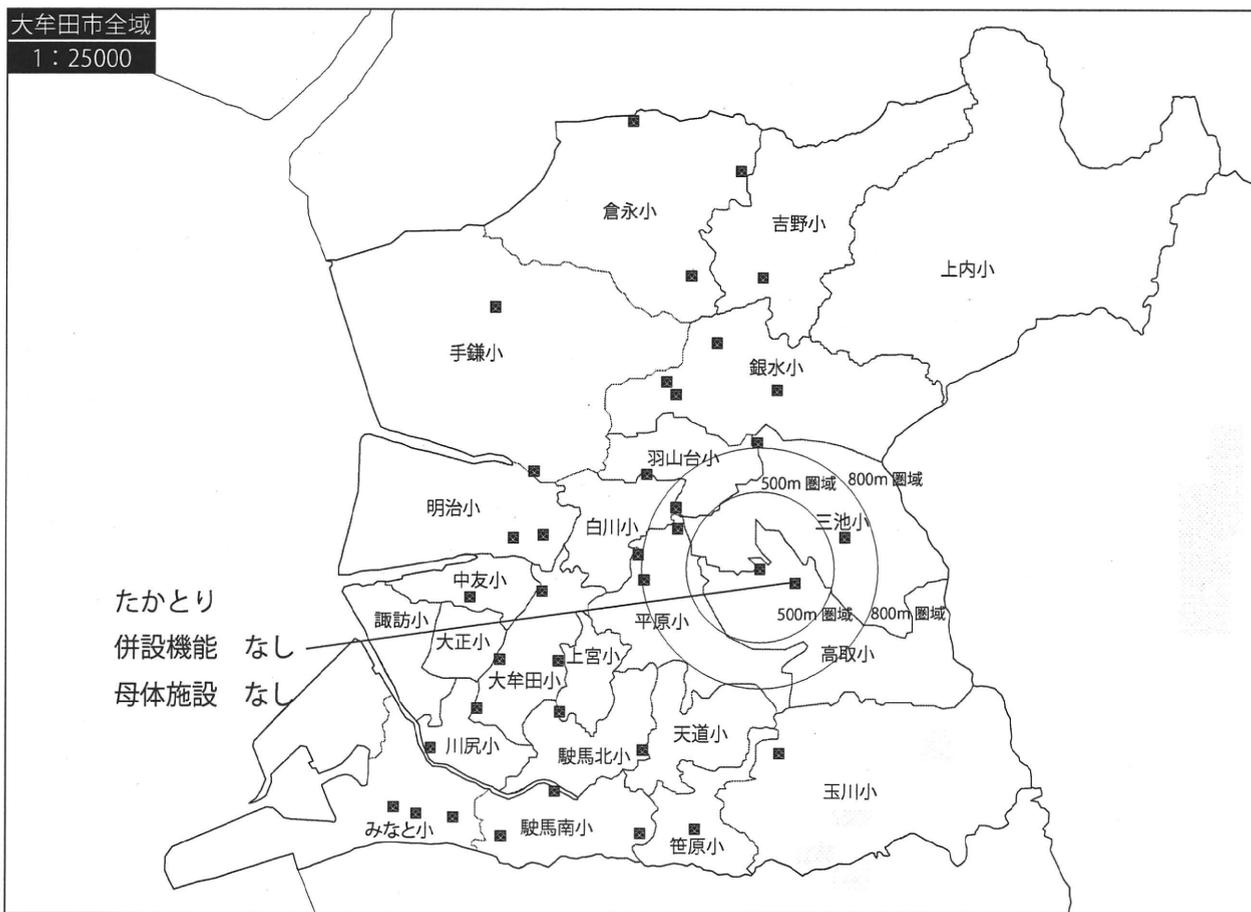
17.	地区校区の住民活動について		
	22校区のなかでは公民館、民生児童委員、校区社協などの活動があまり活発ではない		
18.	校区の住民活動について		
	22校区のなかで公民館、民生・児童委員、校区社協の横の連携があまりない		
19.	地域の互助機能を活用して校区内住民へのケアを行った事があるか		無

【地域交流施設と法人のサービス向上・経営改善】

20.	問19のような高齢者が介護保険を利用することになりケアプラン作成をする際に、地域住民による互助を意識的に組み込んだ事例(朝は民生委員で声かけ、日曜日の昼食準備等)はあるか		
	無	有の場合	
21.	地域交流施設での事業に関わることは法人のサービス向上や長期的な経営改善に寄与するか サービス向上、長期的な経営改善、双方に寄与すると思う。		
22.	地域交流施設の事業に対する法人トップの考えや方針について		
	必要性は認識しているが積極的に取り組んでいるとは言い難いと思う。		
23.	地域交流施設に対する市役所の働きかけについての要望		
	活動を広げる為の時間、人的スタッフが必要です。その為の予算が必要だと思います。		
24.	地域交流施設に対する市社協・校区社協の働きかけについての要望		
	未回答		

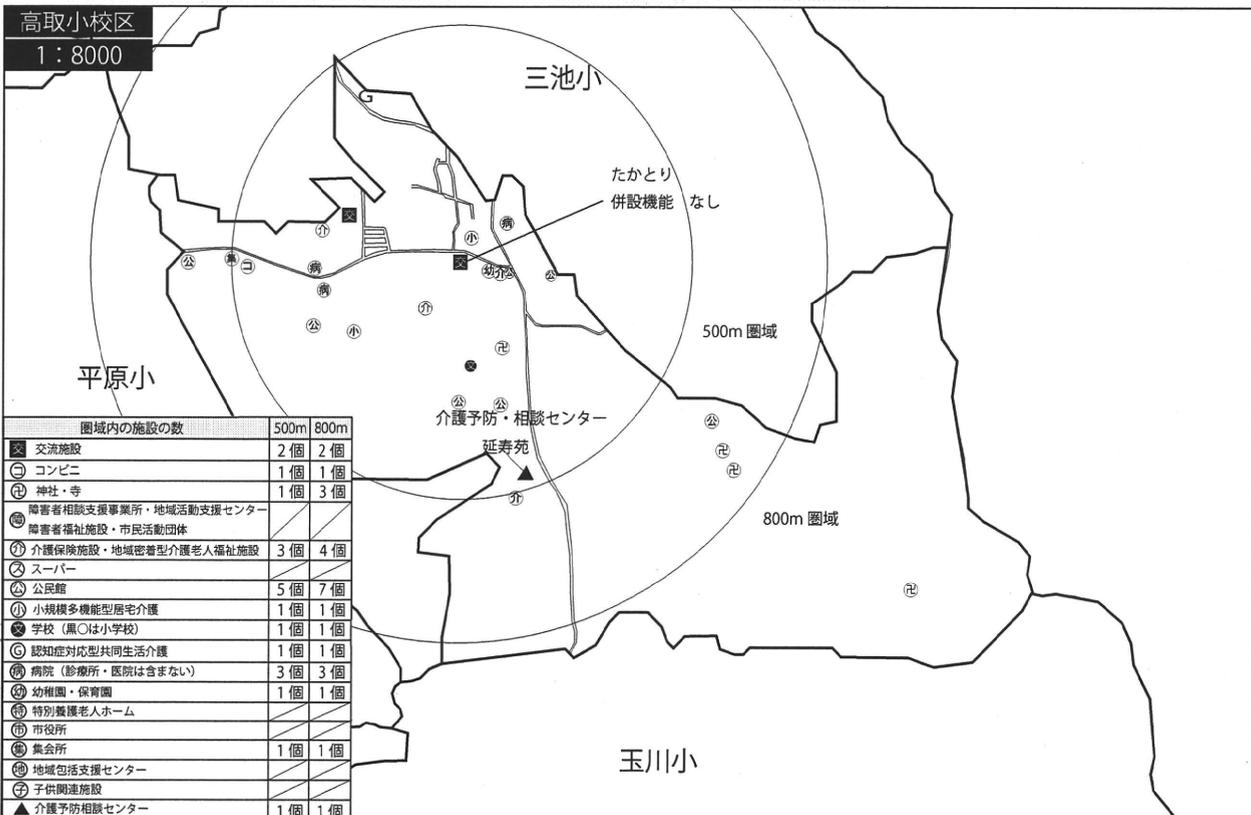
大牟田市全域

1 : 25000

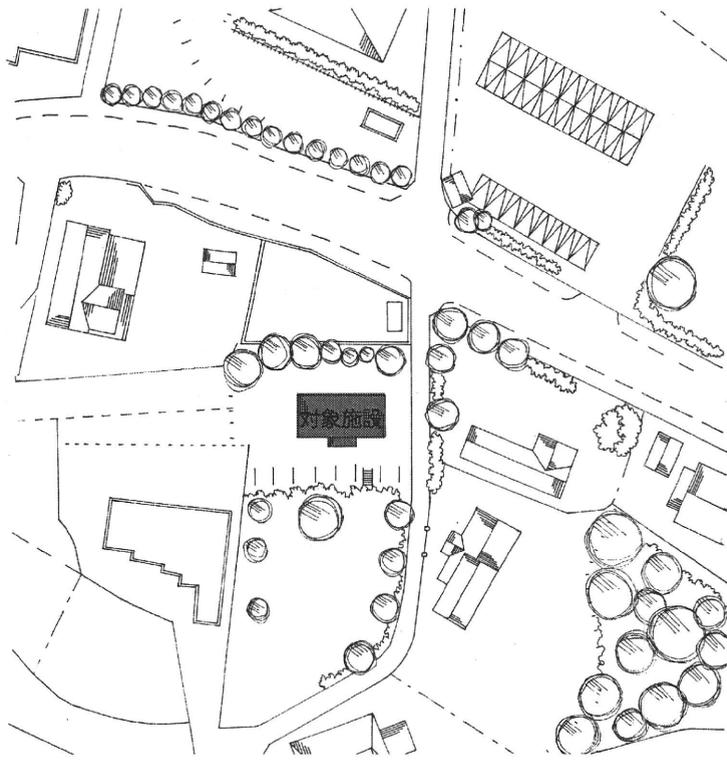


高取小校区

1 : 8000

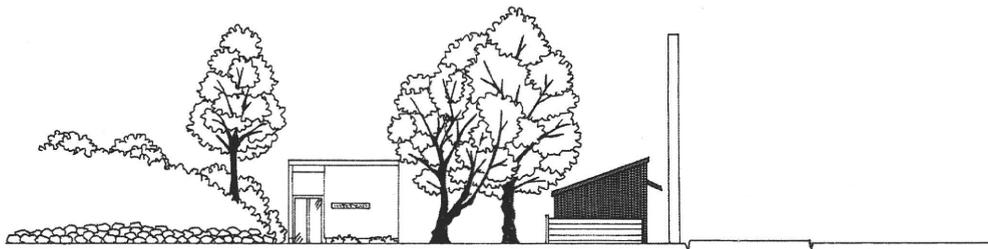


人口	6268人	老人クラブ加入率	8.2%
65歳以上の高齢者数	1864人	公民館加入率	16.2%
単身高齢者世帯数	704人	投票率	55.65%

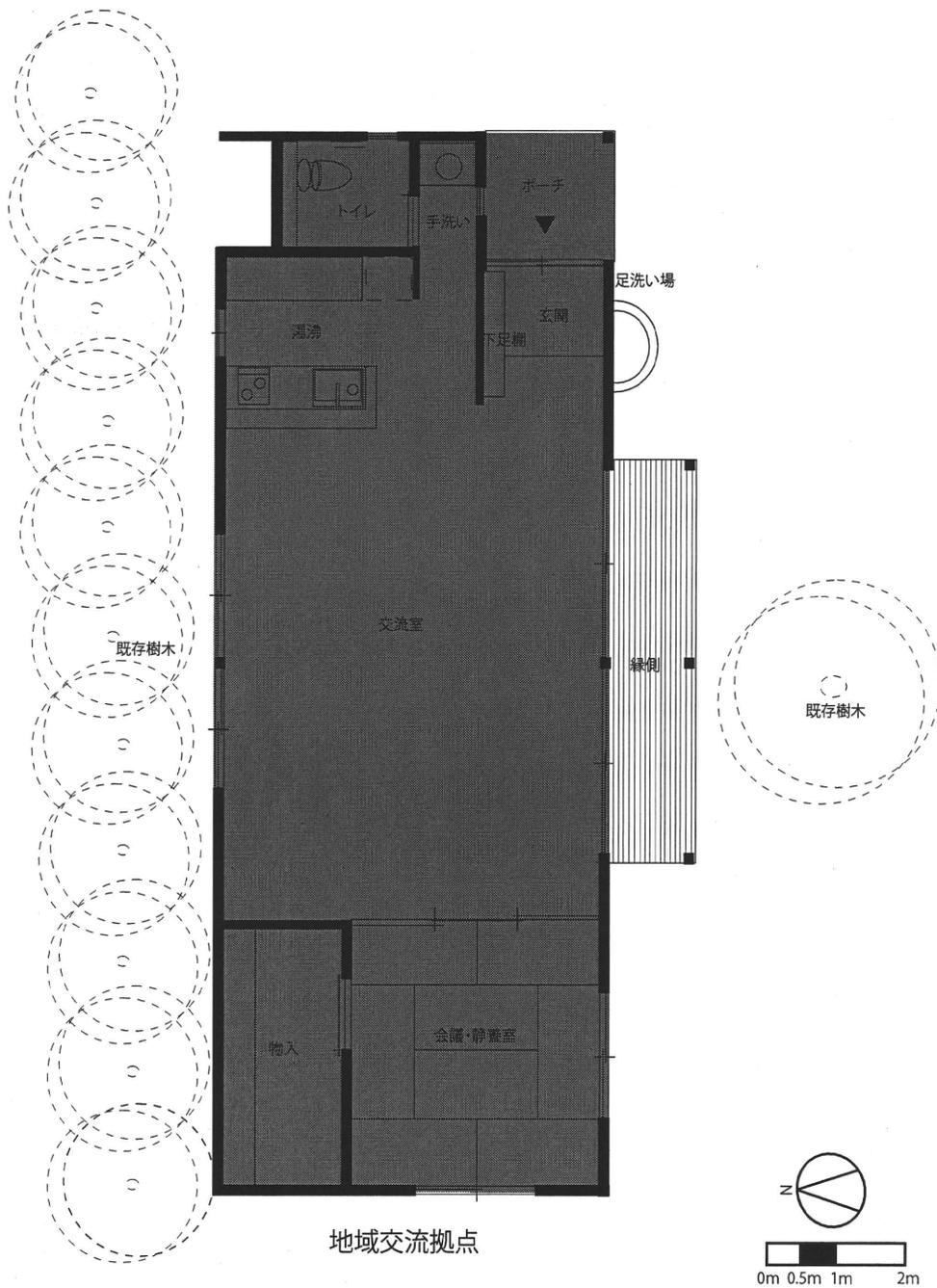


1:1500

たかとり 配置図

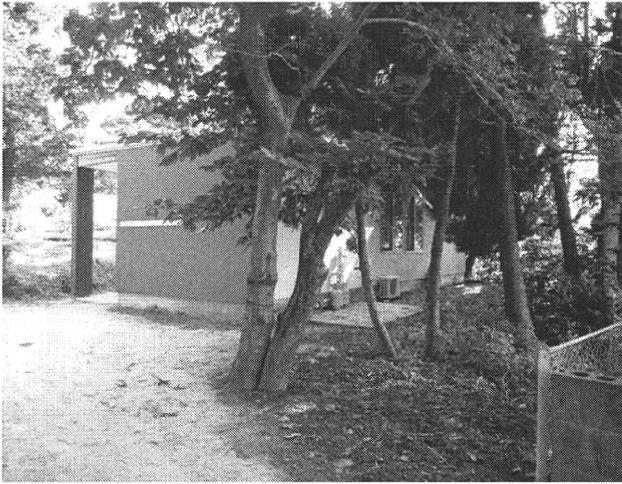


たかとり 東側立面図 1/400



地域交流スペース面積：39.75㎡

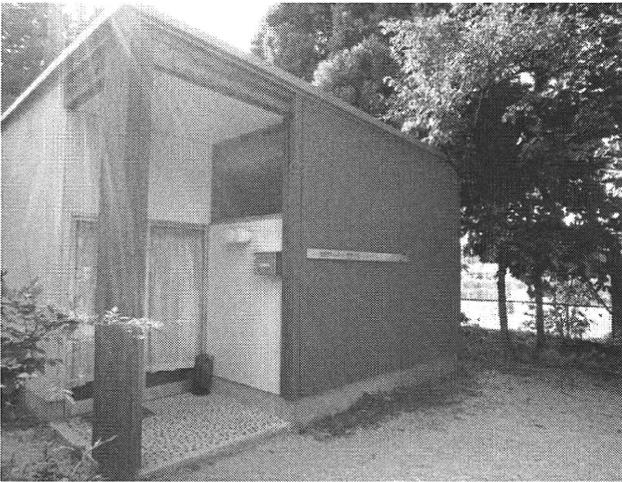
たかとり平面図 1/100



①交流拠点外観



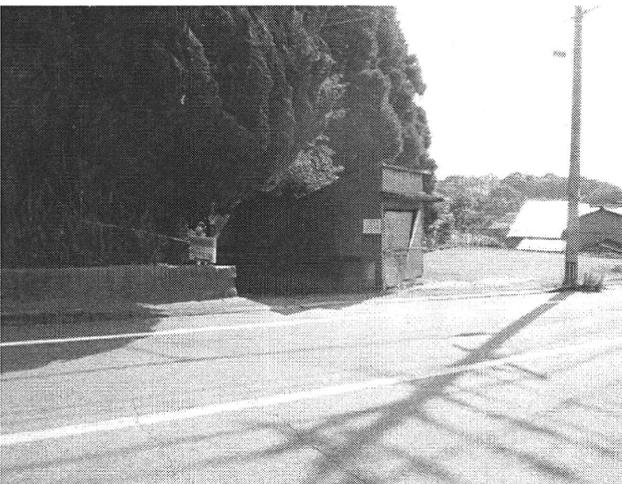
②交流拠点外観



③交流拠点外観



④周辺写真



⑤周辺写真



⑥周辺写真

校区	平原校区	交流拠点名	くぬぎ
		法人名	(医)けんこう

【施設概要】

1.	開設年月	平成19年4月開設		
2.	整備手法	法人・事業所の既存部分を活用		
	整備費用(交流拠点にかかる額)	総額: 未回答 円(うち補助金額 未回答 円)		
	敷地内施設の有無(小規模多機能、グループホーム、訪問介護、居宅支援事業所、喫茶など)	有		
	有の場合: 交流拠点と同一建物内にあるもの	病院		
3.	地区住民が訪問しやすい立地・建物と思うか	どちらとも言えない		
	その理由:			
	運営に関わる主なスタッフ数	3名		
4.	主なスタッフの勤務状況	保有資格	兼務先	
	1人目	兼任	未回答	未回答
	2人目	兼任	社会福祉士	未回答
	3人目	兼任	看護師	未回答
5.	平成21年度の運営費	収入:0万円	支出:未回答	
	交流拠点の家賃	未回答		

【事業内容・運営形態】

6.	総事業数(回)	実施回数(回)	参加者総数(人)	市委託, 法人主体, 住民主体, 横断事業の割合
	7	44	275	0:4:3:0
	事前登録の必要性(必要:不必要)	高齢者, 子世帯, 多世帯の割合		参加者の流動性 固定, ほぼ固定, 流動
8.	4:3	2:0:5		0:2:5
	定期的な活動は、住民主体による手芸教室、習字教室である。隔週で開催されており、1回あたりの参加者数は、10名以下である。その他には、校区の会議の場所としての利用や、不定期に開催される健康教室の場所として利用されている。			
	開館方法	事業や活動がある時のみオープン。それ以外は施錠。必要に応じて開ける。		
	開館曜日			開館時間
	開館時の職員の常駐場所			
	毎月の延利用者数	約28名	利用者数の増減	利用者数は横ばい
	大牟田市委託事業(よかば〜体操、歯にかみ教室)の実施状況			実施している
	大牟田市委託事業の修了者向け講座の有無			無
	名称)			
	独自の交流拠点事業			実施している
対象者)高齢者向け		参加形式)事前登録不要		
住民による校区活動やサークル活動時の利用形態			事前予約が必要・空いていれば利用可	
不定期の利用回数			1~2回/月	
常時運営している有料のレストランや食事処			無	
提供内容			利用者数	
お茶や雑談など地域の縁側機能として立ち寄る場			無	
提供内容			利用者数	
ボランティアの参加の有無		無	延ボランティア数	
送迎の有無			無	
地区住民が利用可能な無料駐車場(隣接地の駐車場等を含む)			有	